

葦 森 の 風

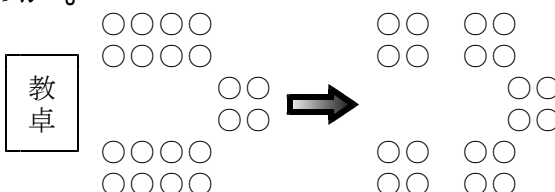
寒い日が続いていますが、皆さんお変わりありませんでしょうか。新型インフルエンザのワクチンが余りそうであるというニュースを聞き、受験生のことを思うと、結果としてはやや安心できる状況になってきているように感じています。もちろん油断は大敵ですが、話は変わりますが、17日(日)の午後、都道府県対抗女子駅伝をテレビで観戦していました。見ているうちに次第に釘付けになり、ゴール後にさわやかな感動をもらったように感じました。岡山市では西大寺中学校の生徒も出場していて、中学生のひたむきに走る姿は、とても頼もしく思えました。足守中学校の生徒一人ひとりも皆、さまざまな面で大きな可能性を持っているのだと感じました。タスキをつないでいく、「つながっている」という自信と勇気を中学校生活にも生かしていきたいと思いました。



協同学習の推進その② (前回に続いて)

【5】協同学習の基本的な構造は、どのような学習なのか。

右に示したように、全体で学習を進める時は「コの字型」の体型で学習し、課題を解決する時は、4人班でグループ学習をするといった体型になります。50分の中で、課題の内容や教科の特性によって、この体型が数回組み替えられるというのが、基本的な構造です。



【6】目指すものは端的にどのようなものなのか。

大きく分けると2点あると思います。1点目は、「大きな学力」2点目は「社会力」だと考えています。「大きな学力」とは、日常的に経験する世界が違う生徒達が、多様な考えを主体的に伝え合うことによって普遍的な理解の場を形成することができ、その中で育つ創造的な学力であると考えます。「社会力」とは、社会に協調できるという消極的な社会性だけでなく、社会をより良く変革していくという積極的な実践力であると考えます。



【7】名称については、どのような定義になっているのだろうか。

『協同学習』、『学び合い学習』、『学びの共同体』といった、名称が使われるようです。厳密な定義ははっきりしませんが、一般的には『協同学習』だと思います。ただし、「教え合い学習」では無いという趣旨で『学び合い学習』という表現を使うことも多いようです。『学びの共同体』という表現は、学習形態自体を指すのではなく、その学習を通して生まれてくる望ましい学習集団を表しています。

【8】協同学習の大切なルールにはどのようなものがあるのか。



- ・コの字型にすることで、教師は生徒一人ひとりの表情を的確に観察できます。生徒同士も相手の表情を見ながら発言したり聞いたりすることが大切です。
- ・自分で、はじめにしっかり考えることで、自分には何がわからないのかをはっきりさせることが大切です。
- ・「わからない」、「教えて」と言える雰囲気をつくるのが大切です。
- ・友達の発言を真剣に、そして、理解しようとして聞くことが大切です。
- ・教師の発問に対して、「何を解決していけばよいのか」という、課題を明確に理解することが大切です。

3年生の面接練習が実施されました

1月13日(水)は、3年生全員を対象にした「面接練習」が実施されました。『志望の動機』や『中学校生活で最も印象に残っていること』、『あなたの学校の校訓』といった質問が本番を想定した形式で行われました。公立自己推薦入試では、科の専門的な口頭試問も実施されるため、生徒も準備が大変です。しかし、何と言っても一番成長したことは、挨拶や礼の所作が見違えるほど向上したことだと思います。本番でもしっかりと自分の良さを伝えることができるように頑張りたいと思います。

